

市営住宅は下見ができないってホントですか!?

新しい住宅に決まっても入居しない人が目立ちます!!

市営住宅の去年の入居は、だぶりを除いて申込407、入居90戸。

倍率は4・5倍です。新・川北団地は24倍超、昭和10・5倍、鳥取6倍、鳥取南は5倍超。空き家が全体の22%ですから、積極的に修繕して、もっと多くの住宅を提供すべきです。

斡旋しても入居せずが34%

希望する市営住宅に決まっても、入居しなかったのが34%もあります。新・川北56%、鳥取南44%、昭和50%の辞退率。新しく便利な住宅で、これだけ辞退するとは信じられませぬ。

市は「別な住宅を決めてしまった人や、連絡を取れない人もいる」と説明しましたが、別の民間アパートに移ったとしても、昭和や鳥取団地が決まったら、私なら絶対に市営住宅に入ります。家賃は安くて施設も

充実しているのですからです。

一因は下見不可にあるかも?

市営住宅は申込時に下見をさせません。決まった後に初めて見て、「こんなはずではなかった」と思い直す人が結構いると聞きました。

「時間を決めて下見させれば、こうしたミスマッチはなくなる」と提案しましたが、市は「修繕前の住戸は見せられない」などと、下見お断りの姿勢を崩しません。

考えてみれば、民間ならどこでもやっていること。市営住宅だからできないでは、理解されませぬ。



大楽毛駅横の二線橋の傷みがひどい

大楽毛の南北をつなぐこの線橋。経年劣化で傷みが目立っています。地域の方から、「危

ないで調べてほしい」との声が寄せられました。

完全にはがれていました。これも大変危険です。

調べで見ると、駅側の階段の一段目の滑り止めの金具が固定されておらず、何かの拍子にピョンと跳ね上がってしま

います。足を引っかけると、市議会の委員会審査で取り上げて、至急、担当課で現地を確認することになりました。

まいます。足を引っかけると、



もう一か所。これも南側ですが、途中の踊り場に点字ブロックがあるのですが、一枚が

